

# レモン生産量1万トン(H32)に 向けた長期貯蔵の取組

平成26年1月21日

広島県農林水産局

販売推進課

柳生 哲希

# 発表の概要

---

レモンの周年供給に向けた出荷体制を構築するため、農業技術センターと連携して、4月末から9月までの長期貯蔵の取組を支援

- 販売推進課について
- 取組の背景
- 取組の具体的内容
- 成果
- 課題
- 今後の取組



# 販売推進課について

---

- 農水産物の販売推進体制の強化を図るため、H25年度に農林水産局に設置
- 主に、野菜、レモン、牛肉、かき、魚などを中心に、販売促進を担当
- レモン振興に関する組織

## 生産振興

- ・ 園芸産地推進課, 農林水産事務所(事業所)
- ・ 農業技術課, 農業技術指導所

## 販売促進

- ・ 販売推進課

## 試験研究

- ・ 研究開発課, 総合技術研究所

# 取組の背景

---

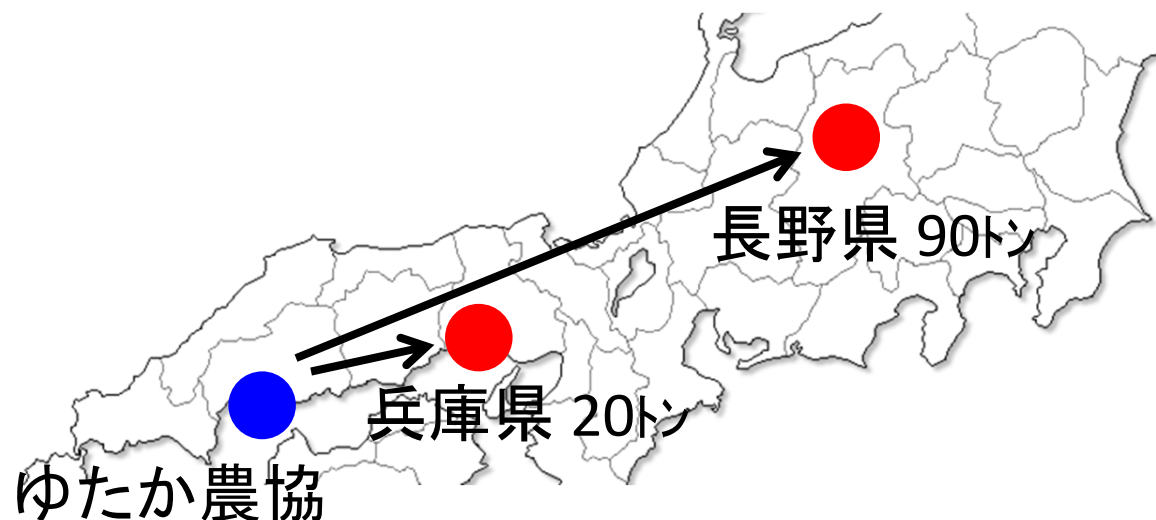
- 露地栽培レモンの出荷時期は10月～5月
- 需要の高まる夏季に出荷できない

1月～5月	6月～9月	10月～12月
出荷可能	出荷できない	出荷可能

# 取組の具体的内容①

---

- 県が、H25年度にレモンの夏季出荷を目的とする長期貯蔵を支援する事業を予算化
- 広島ゆたか農協が、消費地に近い長野県と兵庫県で、4月下旬から、合計約110トンの長期貯蔵を実施



## 取組の具体的内容②（長野県）

- ゆたか農協が，りんご産地の長野県 あづみ農協と，連携の枠組みを構築
- リンゴ用の貯蔵庫で，約90トンのレモンを貯蔵



貯蔵の様子①



貯蔵の様子②



## 取組の具体的な内容③（兵庫県）

- ゆたか農協が，兵庫県の 倉庫会社において，長期貯蔵を実施
- 約20トンのレモンを貯蔵



貯蔵の様子①



貯蔵の様子②

# 成果

- 4月末から9月までの長期貯蔵を実証し，出荷体制を構築



長野県での選果の様子



選果されたレモン



# 課題

---

- しかし、8月・9月は腐敗が急増し、現行の貯蔵方法では、この期間の出荷が困難



腐敗したレモン①



腐敗したレモン②

# 今後の取組

---

- 8月・9月の出荷を可能とする長期貯蔵方法の検討
- 幅広い分野での果樹産地間の連携に期待



両農協の組合長と地元  
卸売業者が握手



記念発売された  
みかんとりんごのジュース